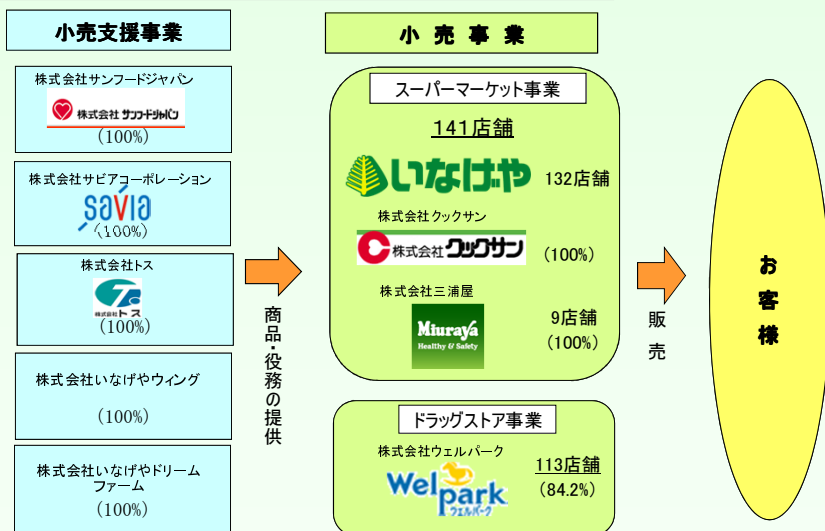


2014年3月期 第2四半期決算説明会

2013年10月31日(木)



当社グループについて



会社のあゆみ

- 1900(明治33)年 現立川駅前に鮮魚商稲毛屋を創業
- 1948(昭和23)年 株式会社稲毛屋に改組
- 1956(昭和31)年 セルフサービス販売方式を採用した東京都下で最初のスーパーマーケットを開設
- 1976(昭和51)年 鮮度保証制度を日本で最初に採用
- 1978(昭和53)年 東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 1984(昭和59)年 東京証券取引所市場第一部に指定、社名を「稲毛屋」から「いなげや」に変更
- 2000(平成12)年 5月創業100周年
- 2004(平成16)年 イオン株式会社と業務提携
- 2010(平成22)年 創業110周年事業の一環で「すこやけくの森」創設
- 2011(平成23)年 立川生鮮青果センター開設
- 2012(平成24)年 グループトレーニングセンター開設

1900年 稲毛屋魚店開業



創業店の店頭(昭和2年撮影)



セルフサービス開始をお知らせする新聞広告

グループのあゆみ

- 2010年以前
 - 1963年 株式会社三雅(現 株式会社サビアコーポレーション)設立
 - 1975年 株式会社稲毛屋食品(現 株式会社クックサン)設立
 - 1982年 東京セキュリティサービス株式会社(現 株式会社トス)設立
 - 1986年 株式会社サンフードジャパン(日配食品製造)設立
 - 1990年 株式会社ウエルパーク(ドラッグ事業)設立
- 2010年
 - 株式会社いなげやウイング(店舗支援・特例子会社)設立
- 2012年
 - 株式会社三浦屋(高級スーパー)を子会社化
- 2013年
 - 株式会社いなげやドリームファーム(農業経営)設立
- 2014年(予定)
 - 株式会社クックサンを吸収合併
 - 株式会社トス(建設業)と株式会社サビアコーポレーション(不動産管理)が合併

- 1. 連結決算の状況
2. 事業別決算の状況
3. 事業別 経営計画の状況
4. 通期 業績予想

2014年3月期第2四半期
決算説明会

連結 経営成績 増収、営業減益だが純利益は増益

短信P.6、参考P.1.5

(億円未満切捨て)

| | 2013/3期 第2四半期 | | | 2014/3期 第2四半期 | | | 増減額 (億円) |
|--------|---------------|-------------|--------------|---------------|-------------|--------------|-------------|
| | 金額 (億円) | 売上高比 (%) | 前期比 増減(%) | 金額 (億円) | 売上高比 (%) | 前期比 増減(%) | |
| 営業収益 | 1,081 | | △2.0 | 1,129 | | 4.5 | 48 |
| 売上高 | 1,041 | 100.0 | △2.1 | 1,090 | 100.0 | 4.7 | 48 |
| 営業利益 | 10 | 1.0 | △29.0 | 4 | 0.4 | △59.6 | △5 |
| 経常利益 | 11 | 1.1 | △23.7 | 6 | 0.6 | △47.5 | △5 |
| 四半期純利益 | 1 | 0.2 | 27.5 | 2 | 0.2 | 13.6 | 0 |

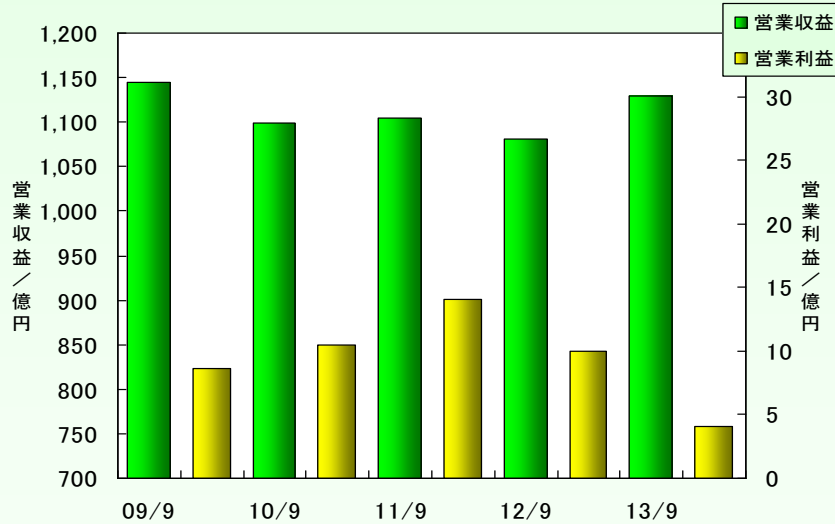
| | SM事業 | ドラッグ事業 | 連結 |
|------------------|-----------|-----------|-----------|
| 全店売上高前期比増減(%) | 5.7 | 0.2 | 4.7 |
| 既存店売上高前期比増減(%) | △2.0 | △0.9 | △1.9 |
| 売上総利益率(％、括弧前期比P) | 27.9(0.2) | 25.1(1.1) | 27.4(0.3) |
| 売上高営業利益率(%) | △0.2 | 2.7 | 0.4 |

連結 営業収益・営業利益 5期推移

営業収益は安定 利益面は経費負担増により減益



参考P.1



連結 財政状態

財務体質は健全性を維持



短信P4.5

(億円未満切捨て)

| | 2013/3期末(支払済) | | 2014/3期 第2四半期末 | | 増減額 (億円) |
|------|---------------|-------|----------------|-------|-------------|
| | (億円) | 構成比% | (億円) | 構成比% | |
| 流動資産 | 297 | 35.2 | 283 | 33.5 | △14 |
| 固定資産 | 547 | 64.8 | 561 | 66.5 | 13 |
| 流動負債 | 254 | 30.1 | 257 | 30.4 | 2 |
| 固定負債 | 120 | 14.2 | 118 | 14.0 | △2 |
| 純資産 | 470 | 55.7 | 469 | 55.6 | △0 |
| 総資産 | 844 | 100.0 | 844 | 100.0 | △0 |

・流動資産 現金及び現金同等物 2億円減
未収入金 10億円減

・固定資産 有形合計 11億円増

・流動負債 買掛金8億円増 未払金・未払費用 8億円増
未払法人税 7億円減 未払消費税 3億円減

・固定負債 長期借入金 7億円減 退職給付引当金 4億円増
・純資産 利益剰余金 1億円減

自己資本比率 55.2% (前期 55.3%)

設備投資 キャッシュフローベース 連結合計 23億円

1. 連結決算の状況
- 2. 事業別決算の状況**
3. 事業別 経営計画の状況
4. 通期 業績予想

2014年3月期第2四半期
決算説明会

セグメント別の状況

短信P.9

ドラッグ事業は堅調 SM事業は経費増加により減益

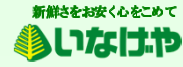
2014/3期 第2四半期

(億円未満切捨て)

| | SM事業※ | ドラッグ事業※ | その他※ | 調整 | 連結損益 計算書計上額 |
|---------------------------|------------|------------|------|-----|----------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部 | 906 | 176 | 7 | — | 1,090 |
| 内部 | 0 | 0 | 34 | △34 | — |
| 計 | 906 | 176 | 42 | △34 | 1,090 |
| セグメント利益 (営業利益) | △1 | 4 | 1 | △0 | 4 |

※事業別の数字は調整前の数字です

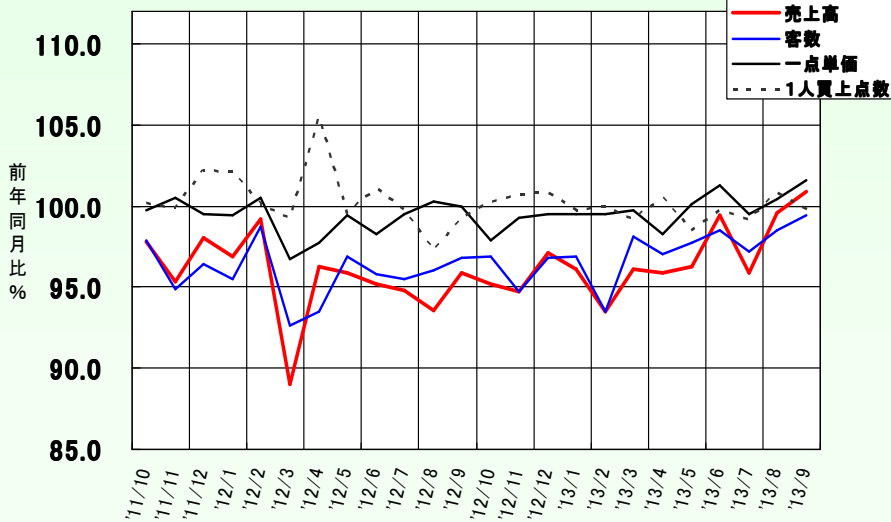
SM事業



既存店売上高前期比 月別推移 11/10~13/9

参考P.5

足元 売上高、客数とも改善



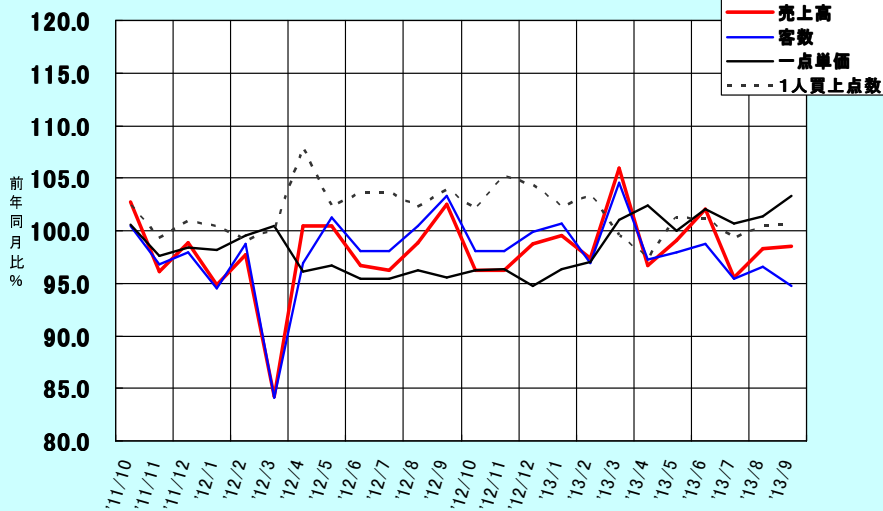
ドラッグ事業



既存店売上高 月別推移 11/10~13/9

参考P.5

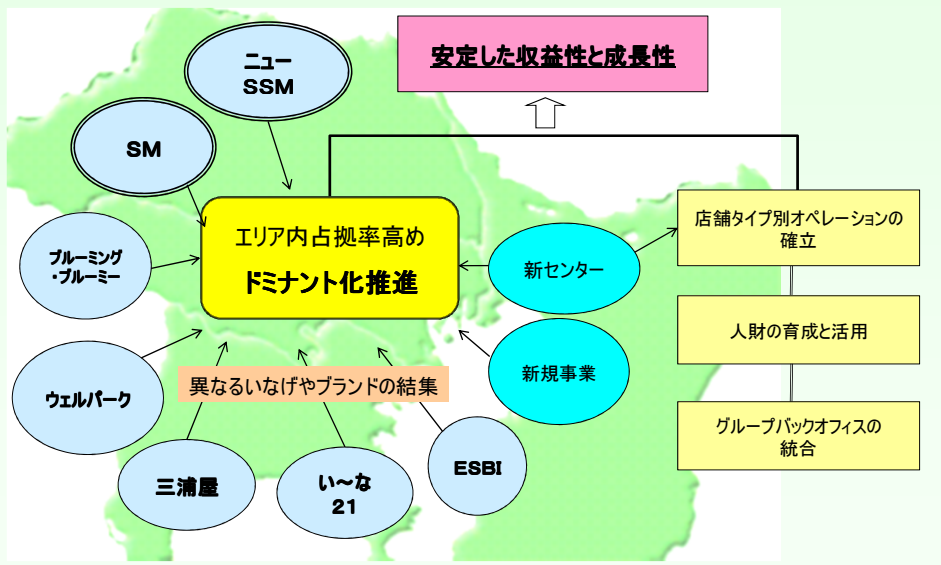
足元客数が減少



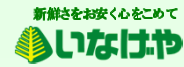
1. 連結決算の状況
2. 事業別決算の状況
- 3. 事業別 経営計画の状況**
4. 通期 業績予想

2014年3月期第2四半期
決算説明会

いなげやグループ
12/13年度 中期経営計画 イメージ



SM事業
2012/13年度 中期経営計画



■ 2012/13年度

2010/11年度

- I SM事業の安定した収益性の堅持
- II 新たな顧客創造への挑戦

目標: SM事業客数 前期比100%



I エリア内占拠率を高め
ドミナント化推進

II SM事業
安定した収益確保

目標: 全社客数・売上高
前期比100%以上
新規事業 売上高 5億円(13年度)

SM事業
上期取組み ①



■ I エリア内占拠率を高めてドミナント化推進

- ①エリアの核となるSSMタイプへ改装推進(中型大型店の強化)
新店 いなげや下石神井店 「惣菜プラス生鮮強化」型店舗(600坪タイプ)
- ②い〜な21 売場・商品の見直し(小型店の強化)
- ③タイプの異なるいなげやブランド店舗展開
(エスビー・クックサン単独店の実験)
- ④新規事業への挑戦(地域のお役立ち業)

SM事業
上期取組み ②



■ II 安定した収益確保

- ①変化する消費構造への積極的な対応～ing・fanカードのさらなる活用～
- ②グループバックオフィスの統合 ～グループ全社の統合完了～
- ③人財の育成と活用 ～新研修センターの本格稼働～

SM事業
下期予定



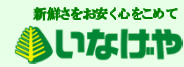
■ 1. エリア内占拠率を高めてドミナント化推進

- ①新店 4店（今期中 全5店舗）
 - いなげや西東京富士町店 11月13日オープン(300坪タイプ)
 - いなげや桜新町店 12月中旬オープン(300坪タイプ)
 - エスピー清瀬店、他1店舗 来春オープン
- 既存店活性化 30～35店程度（惣菜・生鮮強化など）
- ②新規事業 宅配事業の拡大を目指す

■ 2. 安定した収益確保

- ①変化する消費構造への積極的な対応（カード優良顧客囲い込み継続）
- ②グループバックオフィスの統合
- ③新センター構想の実現

ドラッグ事業
2013年度(2014/3期) 経営計画



2012年度

- 収益基盤の土台作り
 - ①店舗改装
 - ②新店6店舗
 - ③食品の売上拡大
 - ④主力商品への取組
- ローコスト運営へ転換
 - ①労働時間のコントロール
 - ②パートによる店舗運営の推進

2013~15年度

- 経営資源の拡大
 - ①新店 6~10店舗
 - ②販促拡大 ポイント会員
- 収益基盤の確保
 - ①重点商品の拡販
 - ②組織運営体制の見直し
- 従業員満足度向上
 - ①教育の充実
 - ②パートナーの成長

中期目標
経営資源の
質と量の拡大

売上高 400億円
営業利益率 3%

ドラッグ事業
上期取組みと下期予定



- 1. 経営資源の拡大
 - ①新店 3店舗(川崎中野島店・調剤薬局新所沢店・町田金森店)
 - ②既存店活性化 上期21店舗 下期16店舗
 - ③販促拡大 ポイント会員
- 2. 収益基盤の確保
 - ①重点商品の拡販
 - ②組織運営体制の見直し
- 3. 従業員満足度向上
 - ①教育の充実
 - ②パートナーの成長

1. 第2四半期 連結決算の状況
2. 第2四半期 事業別決算の状況
3. 事業別 経営計画の状況
- 4. 通期業績予想**

2014年3月期第2四半期
決算説明会

2014/3期(通期) 小売事業計画

【売上高】

| (億円未満切捨, %) | 売上高(計画) | 当期比増減率 |
|---------------|--------------|------------|
| SM事業 | 1,879 | 6.6 |
| ドラッグ事業 | 364 | 3.8 |
| 計 | 2,243 | 6.1 |

数値につきましては単純合算にて算出しております。

【CF設備投資】

リース資産含まず

| (億円) | 新店 | 改装店 | その他 | 合計 |
|---------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| SM事業 | 19.0 | 6.0 | 19.5 | 44.5 |
| ドラッグ事業 | 2.0 | 0.5 | 1.0 | 3.5 |
| その他事業 | - | - | 19.0 | 19.0 |
| 計 | 21.0 | 6.5 | 39.5 | 67.0 |

2014/3期(通期) 数値計画

| | 連 結 | |
|-------|-------------|----------|
| | 金額(億円未満切捨て) | 当期比増減(%) |
| 営業収益 | 2,330 | 5.5 |
| 営業利益 | 30 | △14.3 |
| 経常利益 | 33 | △14.2 |
| 当期純利益 | 14 | △46.6 |

| | 売上高営業利益率 (%) |
|--------|--------------|
| SM事業 | 0.9 |
| ドラッグ事業 | 2.8 |
| 連結 | 1.3 |

SM事業 新店紹介



いなげや 下石神井店
 東京都練馬区下石神井4-34-26
 開店日 2013年9月12日
 売場面積 577坪
 駐車場 144台

ドラッグ事業 新店紹介



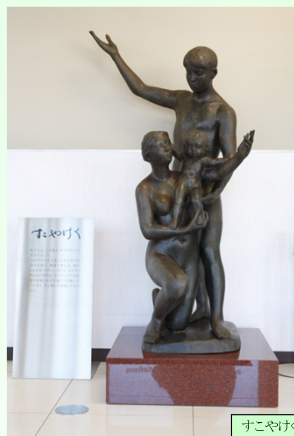
ウェルパーク 川崎中野島店

神奈川県川崎市多摩区中野島1-11-1
 開店日 平成25年4月25日
 売場面積 130.03坪
 駐車場 10台



ウェルパーク 町田金森店

東京都町田市金森3-7-20
 開店日 平成25年9月26日
 売場面積 171.81坪
 駐車場 15台



すこやけくの像

《経営理念》

すこやけくの実現

お客様の健康で豊かな暖かい日常生活と
より健全な社会の実現に貢献する。

商人道の実践

お客様のお喜びを自分自身の喜びとして
感じることができる人間集団。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。これら将来の計画や
 予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の
 業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はそ
 の実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ
 IR担当窓口
 グループ管理本部 財務G
 担当:高坂、進藤
 TEL:042-537-5353
 FAX:042-537-5355